

第 18 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 4 年 7 月 4 日（月） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで		
開催場所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	3 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>第 18 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 一日のお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、只今から、第 18 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。本会議は、新型コロナウイルスの感染防止対策をしたうえで、スムーズな進行に努めさせていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、篠原会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ 大勢の皆さんにお忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。本日は雨でしたが、暑い日が続いております。土日にはKDDIの大規模な通信障害が発生し、インターネット全盛の現代このようなことが起きるとは思っておりませんでした。今回の通信障害で注目されたのは公衆電話ですが、公衆電話のある場所であってもインターネットで探さないとわからないということで、そのような際に備えて皆さんも日頃から公衆電話の位置などお確かめいただくことが必要だと思いました。時代はいろいろな方向で進化していますが、使うのは人間ということで、やはり人間がしっかりしないといけないと感じました。今日もいろいろと決めなければいけません、笑顔で8月22日の出発式を迎えられるようにしたいと思しますのでよろしくお願いいたします。</p>		
事務局	<p>ありがとうございました。第 17 回検討会議において、一部委員と事務局の間で認識の相違が見られたことから、運行事業者との合意形成を図るため、6 月 24 日に篠原会長にご出席をいただいて、改めて「のらざあ」を導入する経緯とともに、これからの取組について話し合いを行いました。運行事業者からは、乗合については協力するが、タクシー事業が成り立つようにしてほしい、タクシーの類似行為は避けてほしいとの思いから発言をしたとの説明がありました。また、運用における懸念点として、「即時配車」「配車台数」「1 日の運行台数」を上げられ、それぞれ議論しました。6 月 28 日に再度運行事業者会議を開催し、それら懸念点について双方で議論をしました。一定の方向性をこの後お示ししますので、ご協議をお願いいたします。それでは次第に基づき進めさせていただきます。このあと、4 の協議事項に入ります。項目としては、 (1) AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の進捗状況について (2) 「のらざあ」車両ラッピングデザインについて。</p>		

	<p>その後、報告事項として</p> <p>(1) 福祉 21 茅野・外出支援ワーキンググループよりの意見</p> <p>(2) 通学通勤バスの利用状況について です。</p> <p>それでは、篠原会長、議事進行、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>(1) AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の進捗状況について①即時配車について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料 1 に基づき即時配車について説明。当日の利用 1 時間前までの予約ということで事業者から提案がありましたのでお諮りしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この件について、運行事業者から意見を求めます。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>前回の検討会議の前に即時配車について検討していただきたい旨の相談をしていたわけですが、市の方では元々、即時配車を希望されていたということで相違があり、あのような発言となりました。基本的には当日予約とドアツードアというサービスを売りにしているタクシー事業の中で、のらざあと類似してしまうためでした。今回については、1 時間前の事前予約であれば、乗り合いの状況も発生する可能性が高く、利用率が上がると思いますので期待しています。</p>
会長	<p>即時配車ではなく、1 時間前までの予約ということですが、ご意見等あればお願いしたいと思います。ある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>これまで会議を重ねていく中で、熱い議論を繰り返し、このような形になってきていると思います。そうした中で、現在のタクシー事業の厳しい経営状況というのは十分理解できると思います。従いまして、今回の実証運行については、理解はしておりますが、近い将来、課題を解決するなかで即時配車につなげていただきたいと思います。</p> <p>新たな交通政策についてはとても重要だと思いますので、大局的に捉えてお互い協力してやっていければと思います。</p>
委員	<p>確かに即時配車よりも乗り合い率を高めるということであれば、1 時間前の予約がいいと思います。また、タクシーとのすみ分けもできると思います。友達との約束等についても 1 時間前にするのか、30 分前にするのかの違いということぐらいで実害はないように感じます。</p>
委員	<p>即時配車の件ですが、検討してということではありますが、のらざあがバスの代替手段ということであれば、相乗り率を高める必要はあると思います。三方一両損という考え方からしても、利用者の方についても少し不便を強いる部分はあると思います。こうした取り組みを行うと事業者が打撃を受ける部分も多いと思います。協力はしますが、廃業や命まで提供することは考えられません。茅野市でいえば、観光客や地元民の夜間の移送をタクシーが担っていると思います。そんな中で事業の縮小</p>

	<p>等が発生するというのであれば、そのような利用者についても不便をかけてしまうと思います。そうしたことから 1 時間前からの予約でご理解を賜ればと思います。まずはタクシー事業者との共存という観点の中でご判断をお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。これからはきちんと挙手をいただいて進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、お諮りした案件については、承認することでよろしいでしょうか。よろしいという方は挙手をお願いします。</p>
全委員	<p>大多数の方が挙手を行い、承認された。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に②の配車ローテーションについてと③運行について、一括で事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料 1 に基づき配車ローテーション、のらぎあ運行期間について説明。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで質疑を受けたいと思います。ある方は挙手をお願いします。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>それではご承認いただく方は挙手をお願いいたします。</p>
全委員	<p>大多数の方が挙手を行い、承認された。</p>
会長	<p>即時配車に関するご意見については、今後の会議の中でも議論をさせていただければと思います。これで決まりということではございませんのでよろしく願いたします。</p>
委員	<p>ノアという車両は乗車定員が若干少ないので、導入にかかわる説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>今回の運行についてはハイエースを主力として考えています。そうした中で環境にも配慮したいと考えました。ハイエースについてはハイブリット系の車両がありませんでした。そうした中で、他の車両を探す中でノアのハイブリット車両を導入しようという経過でございます。ノアについては、FF ということで雪道等の不安はございますが、車両は高齢者にも優しい車両にしております。そうしたことから車両の導入を決めました。</p>
委員	<p>ノアですと乗車定員が少なくなり、利用になるお客様が窮屈になるということになります。たまたまその車両が行くことはあると思いますが、環境に配慮しているということを明確にし、利用人数も加味しながら配車の方をお願いしたいと思います。</p>

会長	<p>そうしたことですので、皆様にご理解をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>次に、(2)「のらぎあ」車両ラッピングデザインについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>応募総数 37 作品</p> <p>7 月 1 日に事前審査については、公募要綱を遵守しているかの確認を行い、本日投票により最優秀賞（1 点）を決定する。</p> <p>投票方法については、事前審査の段階で、有識者として日本グラフィックデザイン協会会員で、公立諏訪東京理科大学の客員研究員も務めるデザイナーの内堀法孝（うちぼり のりたか）さんからアドバイスをいただき、37 作品をデザインの機能性と感覚性からグループ分けをしていただき、公共交通に持たせるイメージや市民が持つイメージなどの面からアドバイスをいただき、いくつかのグループに分けさせていただきました。全作品を本日資料として出していますが、投票にあたりましては、分散を避けるため、ある程度候補を絞らせていただきたいと考えています。「のらぎあ」のデザインとして、長きにわたって市民に愛される、また、視認性や分かりやすさといった面から、グループ A の作品を最終選考作品とし、投票をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ここで、内堀法孝さんから、選定にあたってのアドバイスをいただきたいと思います。それでは内堀さん、よろしく願いいたします。</p>
アドバイザー	<p>こんばんは。諏訪でデザインを行っております。今回ラッピングデザインについて、大きくどのような観点で審査するのがいいのかお伝えしてございます。まずは公募の要項について満たしていなければならないということになっております。そうしたことからいくつかの作品については要項の規定から外れている可能性が高いと思いました。公共事業においての変革性と独自性と正面、側面、背面のデザイン性を見たときに車両が分かりやすいか、側面が分かりやすいか、茅野市の車両だとわかることが必要であるとアドバイスをさせていただきました。あとは公共交通として信頼性等が必要であると思います。確実な新しいシステムであると認識してもらう必要があるためです。また、目の前を走る車両が自然環境等を想像してきれいにみえるものが必要であると思います。グループ A については、シンプルであり、認識されやすい点で選択の中で評価されました。のらぎあということばがちゃんと伝わっているかと思います。グループ B については、全体ラッピングを一部白抜きにすることで可能性はあるのではないかと思います。そうした観点からグループ分けを行いました。グループ C、D、E については、シンプルなデザインであるため、市民の皆様の印象に残らない可能性が高いという意味で評価を低くさせていただいております。公共交通については飽きずに認知してもらうということですので、同一性をどれだけ出せるかだと思います。説明は以上になります。</p>
会長	<p>投票の仕方やアドバイスについてご質問があればお願いします。</p>

委員	<p>大変すばらしい作品であります。ただ事業者の立場からすると塗装やラッピングについては劣化がしてきます。車両の運行であります。事故があった場合や被害事故があった場合にあまりお金がかかるといけないと思いますので、そうしたところも投票の際には、ご配慮いただければと思います。</p>
事務局	<p>お手元の資料には、全作品を掲載しておりますが、投票にあたりましては、作品数が多いことによる票の分散を避けるという意味もありますので、候補を絞らせていただければと思います。のらぎあのデザインということで分かりやすく、親しみやすい作品であるグループ A の中からお選びいただきたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>要はグループ A から投票していただきたいということでございますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>投票は 1 票でしょうか。例えば 1 人 5 票ということではいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>グループ C、D、E についてはデザイン公募の仕様にあっていないという面がございます。グループ A についてはその部分がクリアになっております。グループ B については一部多少のデザイン変更があれば問題ないということがございます。そういう意味でグループ A または B ということでお願いしたいと思います。</p> <p>複数投票については、基本的に選ぶのは、一作品になると思いますので、お一人一票でよろしいかと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>投票については 5 作品に対して行えるということはどうでしょうか。</p>
委員	<p>2 段階方式での投票はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>投票の方式は提案すればいいと思いますが、何かを決める場合に、1 回で終わらせてしまうとうまくいかないと思います。そうしますと、1 回絞りこんでもう一度行うということではないかと思っております。</p>
会長	<p>事務局の提案は内堀さんの提案をする中で、グループ A か B からでいいのでしょうか。</p>
委員	<p>市役所から指摘されたとおり仕様に適していない作品であれば、そこは制御した方がいいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
会長	<p>グループ A か B の中から選ぶということではよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>事務局とアドバイザーの意見を聞く中で、事務局の意見をひっくり返すやり方はわかりません。事務局からの説明はよくわかる説明であったのでグループ A から投票してもらえればと思います。</p> <p>一部デザインを変更するという事になればここでは決まらないとお</p>

	もうのですが、いかがでしょうか。
会長	Aからの選択をした方がいいというご意見ですがいかがでしょうか。
委員	Aからであれば1回の決戦投票でいいと思いますがいかがでしょうか。
委員	私は折衷案として提案しているので、企画案からあったものであればそこから選ぶ際にどうしたらいいのかという方もいらっしゃると思います。Bでやるといったところになるとカッティングシートであれば納期は間に合わないと思います。そうした中で、Aから2つ選んで決戦投票をしたらどうかと思います。そもそもグループBから最優秀賞が決まった場合に間に合いますか。
アドバイザー	作り方で変わってきます。フィルムに印刷するというのであれば時間はかからないと思いますが、シンプルな方が作業性はあがると思う。
会長	他にご意見がなければ多数決で決めようと思いますがいかがでしょうか。
全委員	異議なし。
会長	多数決を取りたいと思います。それでは一番先に、グループAから選ぶのとグループAまたはBから選ぶか、全部のデザインから選ぶかだと思います。
委員	グループAだけとか絞らないで皆さんの意見をお聞きした上で、グループ全部の中から投票してみたらどうかと思いますがいかがでしょうか。
会長	グループAだけで行くのかAとBから行くのか、全体からで行くのか多数決を取ります。 多数決の結果、Aからの投票にしたいと思います。次に1回か2回かについて意見を取ります。
委員	2回投票の意味について教えてください。
会長	1回目の投票の中で、1番と2番の作品について投票を行うということになります。
委員	1番と2番が過半数に達していない場合にやればいのではないかと。
会長	そのとおりであると思います。
委員	2回目の投票については、1回目と同じ投票ではなくて、1位と2位の中で決めるということですか。
会長	複数投票について1回の投票で行いたいと思います。もう一つは1回

	<p>に一票かについて全委員に確認します。1回の投票でグループ A の中から選べばいいという方は挙手をお願いします。</p>
全委員	<p>大多数の方が挙手を行い、承認された。</p>
会長	<p>それでは、一人一票で1回、Aからの投票をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは集計結果で出るまでの間に報告事項等の説明を事務局からお願いいたします。</p> <p>(1) 福祉 21 茅野・外出支援ワーキンググループよりの意見について、福祉 21 茅野・外出支援ワーキンググループ事務局から説明をお願いします。</p>
地域福祉課担当者	<p>別紙資料 2、2-2 に基づき説明。</p>
事務局	<p>これまでの福祉 21 ワーキンググループとの意見交換を行って行く中で、このようなご要望をいただきましたので検討をしていきたいと考えております。一つ目ののらぎあ利用回数券については、設定をさせていただきたいと思っておりますので、ご報告をさせていただきます。そのほかの内容についてはシステム事業者とも話をする中で進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ここでご意見等あればお願いしたいと思います。ある方は挙手をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>つづいて(2) 通学通勤バスの利用状況について 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料 3 に基づき、通学通勤バスの利用状況について説明。</p>
会長	<p>その他全体をとおしてご質問があればお願いします。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>それでは、投票方法について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>開票の結果が出ましたので、事務局から報告します。</p>
会長	<p>ただいま、事務局から報告があったとおり、2番の作品に決定しました。ご協力ありがとうございました。市民が愛着を持てる「のらぎあ」の車両になると、今から心待ちにしています。次点が6番の作品に決まりました。最優秀作品については2番の作品に決定いたしました。このような車両が今後走っていければいいと思います。</p>

委員	<p>継続勤務の中にトレーニングの問題とオペレーターのトレーニングの問題について概要を教えてくださいと思います。</p>
事務局	<p>8月上旬から中旬にかけて1週間程度のトレーニングをシステム事業者とも協議をしているところであります。</p>
委員	<p>苦情や対応マニュアルや想定問答についても制作をしていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>次回の検討会議でございますが、7月下旬から8月上旬にかけて開催しますので、ご予定をお願いいたします。 以上で、本日予定していた案件については、全て終了いたしました。 ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>5 閉会 ありがとうございました。それではこれを持ちまして、会議を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>